

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域生活支援センターしおん 放課後等デイサービス事業所 ルンビニー学園			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 10日 ~ 令和7年 10月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 11日 ~ 令和7年 10月 11日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 23日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全に遊べる園庭や大きなトランポリンがあるブレイルームなど活動場所が広く、体をたくさん動かして遊ぶことができる。	ボール遊びや鬼ごっこ等で体をたくさん動かして発散できるようにしている。また、小集団でルールのある遊びを経験する中で気持ちの良いコミュニケーションがとれるよう声かけなどを工夫している。	利用者の自発的な遊びだけでなく、一人一人の伸ばしたい力を見極めた上で活動(遊び)を工夫していく。
2	部屋数が多いため、相性や活動内容によって部屋を分けて活動することができる。	宿題に取り組む時間などを一斉に同じ時間にすることなく、それぞれが自分の決めた時間に集中できる場所を選んで取り組むなど自主的な姿勢を応援している。	下記の改善点にも挙げているが、季節によっては使えない部屋があるので、冷暖房の修繕が必要な部屋については法人全体で計画的に行っていきたい。
3	放課後デイサービス以外にも相談支援事業所や共同生活事業所、就労支援事業所、入所施設などが同じ敷地内にあるため、学齢期卒業後のイメージについてもお伝えしやすい。	より個別の対応が必要な時には、他部署の力を借りて安心安全に活動できるようにしている。また相談支援専門員が通院同行する際の情報提供やケア会議への出席など積極的に関わり、利用者様の包括的な支援を心掛けている。	他部署とさらに連携を深め、利用者様や保護者様も参加できるイベントなどの情報提供をしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者アンケートの結果からも「わからない」と回答されている項目が多いことから、情報発信が足りていないと感じる。	今年度、新規利用の方が多かったため、事業所運営についての情報発信が足りていなかつたと考えられる。	隔月で活動紹介紙「たのしいなかま」を発行しているが写真中心の紙面のため、運営についての情報も盛り込んでいきたい。
2	保護者同士の交流の場が少ない。	今まででは保護者同士の横のつながりを求める雰囲気がありなかったため実施していなかったが、学校の違う子どもたち同士のかかわりが増える中で保護者同士も顔の分かる関係を作っていくことが必要と感じる。	今後、個別のニーズに応える保護者支援だけでなく、保護者同士が交流できる機会を設けていきたい。
3	施設全体が古いため、修繕が必要な箇所が多い。	エアコンなどの設備がなく夏場は暑くて使用できない部屋がある。	計画的に修繕を行い、利用者様の活動を保障できるようにしていく。